

# 令和8年度 手稲山口小学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：27505

「学ぶ力」	
実 態	課 題
<p><b>成 果</b></p> <p>◇「主体的に関わる課題を生む手立て」によって、共通指標アンケート「振り返ったことを次に生かそうとしている」等、新たな目標を立てる項目について、肯定的な回答の割合が増加傾向にある。</p> <p>◇「話したがる、聞いたがるを生む教師の関わり」によって、共通指標「意見の違う人とも、よく話し合おうとしている」児童の割合が8割を超えている。</p> <p>◇自校アンケート「自分から挨拶する、廊下を正しく歩く、ハンカチを持ち歩く、の<b>アロハ</b>を忘れずにしている」児童の割合が8割を超えている。</p>	<p><b>課 題</b></p> <p>◇学力テストでは、国語・算数いずれも全国平均を下回っており、意味理解を伴った知識・技能、自分で考える能力、他者と学び合う能力=<b>基礎学力の向上</b>が本校の深い学びには必要である。</p> <p>◇自校アンケート「学級活動、クラブ活動、委員会活動で自分の意見を進んで発言しようとしている」児童の割合が7割である。</p> <p>◇共通指標「自分が必要とされていると感じる」児童の割合は3ポイント上がったが、ほかの項目と比べ低い傾向にある。個の変容を見逃さず価値付ける。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇共通指標アンケートで相互承認に関する項目は昨年度とほぼ同程度か増加傾向にある。特に「人のよいところを見付けようとしている」児童の割合は、8ポイント<b>増加</b>している。「自分が必要とされていると感じる」割合も3ポイントアップしているが、ほかの項目と比べ<b>低い傾向</b>にある。</p> <p>◇「思いやり」「あこがれ」の心を育む教育活動によって、共通指標「人の役に立ててうれしいと感じることがある」児童の割合が9割を超えている。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

## 基礎学力と考える力、関わる力

取 組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>(1) 研究主題「一人一人に基礎学力が定着し、生き生きと参加する授業づくり」に基づき、低・中・高・特別支援の4ブロックに分かれ、ブロック内で授業づくりを行い、全員1実践を公開する。</p> <p>(2) <b>単元のつまずきポイントを見極め、それを自力で乗り越えるための手立て</b>を用意する。(視点①)</p> <p>(3) 導入・展開・まとめの各段階で<b>子どもが積極的に学びに向かう活動を設定</b>する。(視点②)</p>	<p>①<b>児童の手による自治的な児童活動、行事、学級活動</b> →子どもの考えや意見、発想を生かす →子どもが自ら考える場、関わる場を創る 計画、立案、司会・進行など、子どもに委ねていく。→あこがれ</p> <p>②学級診断尺度 <b>Q-U</b> を活用した<b>自治的な学級経営</b> →児童の手で、やる気のある、居心地の良い<b>あったかい</b>クラスを作る。</p> <p>③「<b>アロハ</b>」の取組の充実→子ども主体の活動となるよう工夫していく。</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について		
<p>◇(2)については、ドリルパーク、生成AIで作成したゲームなど、ICTを活用し、児童一人一人の学びの状況に合わせた問題に取り組ませることができる。</p> <p>◇(3)や①については、オクリンクプラスを使い、自分の思考を分類・整理したり、他者と作ったカードを共有し、意見交換をスムーズに行ったりする。</p> <p>◇①については、児童が、全校児童クラスルームで全体に発信したり、フォーム機能を使ってアンケートを取ったりすることも考えられる。</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

<p><b>新年度</b></p> <p>◇本プログラム共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員集会(5月)</li> <li>・学校HP掲載(6月)</li> <li>・学校便りで内容説明(6月)</li> </ul>	<p><b>【一人一人の教職員】</b></p> <p>◇日常の授業改善</p> <p>◇学校運営計画に基づいた学年学級経営、学級活動、行事の推進</p> <p>◇各自の研修…札教研、年次研修</p>	<p><b>【学校全体】</b></p> <p>◇授業案検討(5,6,9,10,11月)</p> <p>◇校内研修(4,10,3月)</p> <p>◇授業公開一人1本</p> <p>◇小中ワーキンググループ会議(1月)</p>	<p><b>次年度へ</b></p> <p>◇成果と課題の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究全体会(2月)</li> <li>・学校評価全体会(2月)</li> <li>・新年度計画全体会(3月)</li> </ul>
---	--	---	---

